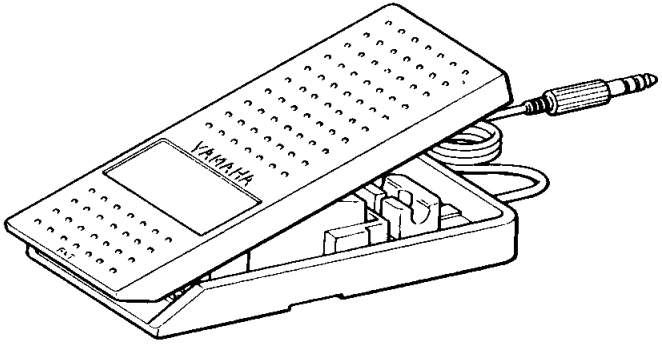
YAMAHA

FC7

FOOT CONTROLLER

OWNER'S MANUAL



安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△記号は、危険、警告または注意を示します。

⃠記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

●記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

＊お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
感電や火災、または故障の原因になります。

⚠注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体が変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

本体を移動するときは、必ず接続ケーブルを外した上で行う。
ケーブルをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。
本体が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

この取扱説明書は、エコパルプ（ECF：無塩素系漂白パルプ）を使用し、大豆油インクで印刷しています。

M.D.G., EMI Division, Yamaha Corporation

© 1999 Yamaha Corporation

V467710 002ITIT25.2-02B0

●ヤマハフットコントローラー FC7

このたびは、ヤマハ・フットコントローラーＦＣ７をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
ＦＣ７は、ロータリーＶＲ方式を採用し、従来のCdS方式ペダル(FC3A)との互換性も持っています。
また、フォルテシモ機能の採用により、部分的に演奏を強調することもできます。ペダル角度も自由に調整でき、演奏姿勢に合わせたペダル角度が選択できます。
ＦＣ７の性能を充分発揮させ、末永くお使いいただくために、この取扱説明書を充分お読みくださるようお願い申し上げます。

仕　様

全踏込み角度　30°
（立奏，座奏共）

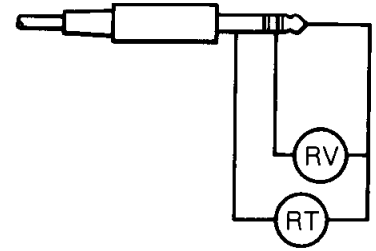
抵抗値

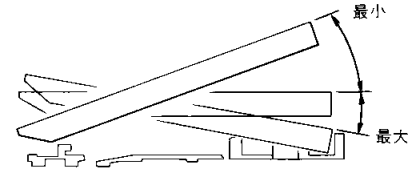
（KΩ）

	RT	RV
最小	50±30%	50±30%
最大	50±30%	——

寸法（W×H×D）　116×58×250mm

重量　1.3kg

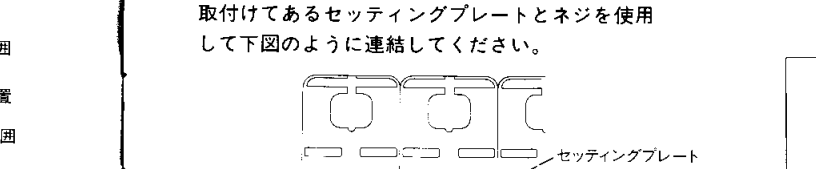




FC7の機能

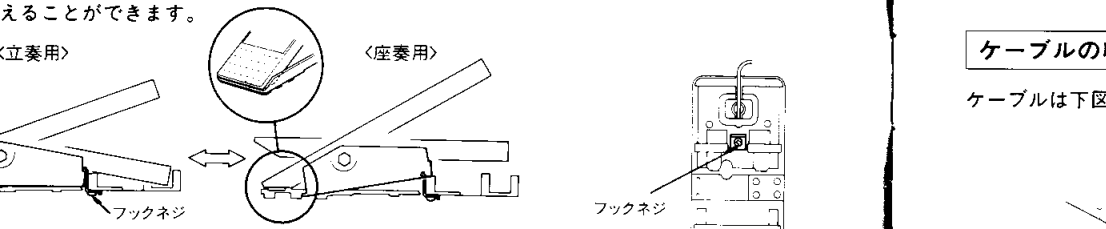
■フォルテシモ機能

音量等を部分的に強調できます。
右図に示すように全踏込角度は30°です。標準位置までのは自由に静止させることができます。
標準位置から、さらに踏み込んだ場合は足を離すと自然に標準位置まで復元します。
また、底面のネジを回すことにより、復元範囲を0～10°まで変えることができます。



■ペダル角度切替機能

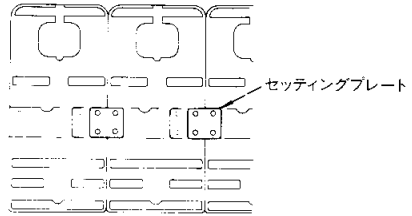
キーボードの演奏姿勢に合わせ、ペダルの角度を下図のように変えることができます。



1.フックネジをドライバーでゆるめます。
2.本体を座奏用イラストの位置に移動します。
3.再びフックネジを締めて固定します。

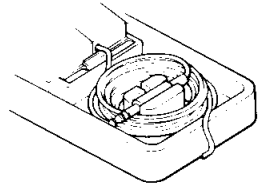
複数ペダルの連結

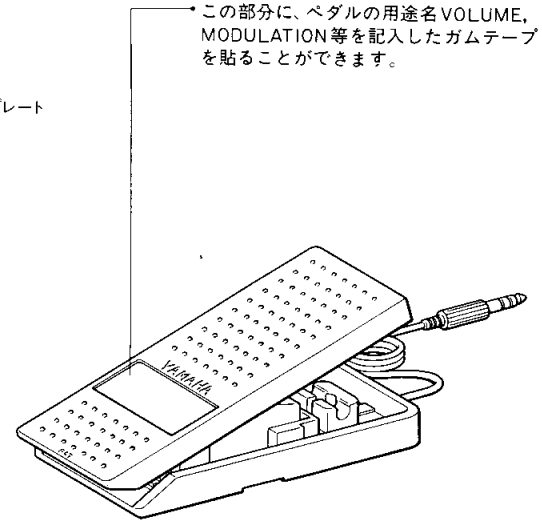
複数のペダルをセットする場合は、ベース裏面に取付けてあるセッティングプレートとネジを使用して下図のように連結してください。



ケーブルの収納

ケーブルは下図のように本体に収納できます。





■保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

●持込み修理のお願い

まず本書をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50　ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7　仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL (044) 434-3100
浜松サービスステーション	〒435-0048	浜松市上西町911　ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2　ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16　ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7　(株)ヤマハミュージック神戸　高松店内	TEL (087) 822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社]			
カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911　ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-1158

■デジタル楽器に関するお問い合わせ窓口

EM北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50　ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
EM仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL (022) 222-6147
EM東京事業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5476
EM名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL (052) 201-5199
EM大阪事業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9　心斎橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
EM広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18　ヤマハビル	TEL (082) 244-3749
EM九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2130
電子楽器事業部営業部	〒430-8650	浜松市中沢町10-1	TEL (053) 460-2432

ホームページ	http://www.yamaha.co.jp/	
ニフティサーブ	「GO FMIDIVA」コマンドでFMIDIVAに入ると、ヤマハデジタル楽器およびDTM製品のフォーラムがございます。	
	電子会議	#16 ..... ヤマハSynth & CBX情報ボード
		#17 ..... ヤマハSynth & CBXユーザーズカフェ
		#18 ..... ヤマハSynth & CBX相談室
	データライブラリー	#8 ..... ヤマハ／デジタルCBX

※所在地電話番号などは変更されることがあります。

この取扱説明書は、エコパルプ（ECF：無塩素系漂泊パルプ）を使用し、大豆インクで印刷しています。

This document is printed on chlorine free (ECF) paper with soy ink.

VD69020 002ITIT25.2-17P0

M.D.G., EMI Division, Yamaha Corporation

© 1999 Yamaha Corporation